
寧波金柑の開花習性について (第1報)

児島道弘*・有蘭重美*・宮迫一郎*

KOZIMA, M., ALIZONO, S. and MIYAZAKO, I. On the Flowering
Habit *Fortunella Crassifolia Swin-gle.* (1)

鹿児島県において寧波金柑は、副業として採用されているが、その開花習性を明らかにし、優品果実の増収をはかる基礎資料とするために、場内の寧波金柑 25

* 鹿児島県果樹試験場

年生 2 本を供試し、各開花期別に即ち、1 番花から 4 番花までの、4 回について、これらの母枝から A, B 樹、各々 10 本を任意抽出して調査したので、その結果を報告する。

1. 開花期について

本年の開花期は、第1表に示したが、1番花の開花始が6月22日で、盛花期が7月7日開花期間22日間、2番花の開花始が8月3日開花期間6日間、3番花の開花始が8月18日開花期間7日間、4番花で9月2日で5日間であつた。

第1表 寧波金柑の開花期 (昭和35年度調査)

区 別	開 花 期			
	始	盛	終	期 間
	月 日	月 日	月 日	22日間
1 番 花	6. 22	7. 7	7. 14	22日間
2 番 花	8. 3	8. 5	8. 8	6 "
3 番 花	8. 18	8. 21	8. 24	7 "
4 番 花	9. 2	9. 5	9. 6	5 "

2. 結果母枝について

第2表に示したが、従来の記載と異つている。母枝の長さで、1番花は7~8cmが多く、最短が3cm位、2番花以降は5cm位が多く、最短が1cm位であり、葉数も同様な傾向で、1番花が7~8葉、2番花以降は5葉位であつた。母枝の種類は、1番花が前年春枝90%、夏枝10%程度、ついで2番花は、前年春枝70%、3番花は前年春枝60%、4番花は前年春枝50%と、順次開花期の遅れるに従つて、春枝の割合が少く、夏枝のふえる傾向があつた。又この母枝に花が腋生しているので、逆に先端から節別に調査したが、花は単生又は2~3花の簇生で、先端の1~2節に少く、3節から7~8節に着花し、その着花数は、1~2番花の母枝に多かつたが、結果枝に比べると非常に少く、1番花で結果枝の20%位の着花であつた。

3. 結果枝について

第3表に示したが、結果枝の発生節位は、母枝の先

端に多く、1番花の結果枝は1節に90%が発生し、2番花以降の結果枝も先端に多いが、5節までに発生がみられた。結果枝の長さは母枝と同様な傾向があり、1番花が8cm位で最も長く、2番花以降は4~5cmで直花もみられた。結果枝の種類は、1番花では本年春枝が100%であつたが、2番花は春枝40%で、夏枝60%、3番花は春枝20%、夏枝80%と順次夏枝の割合が多くなり、4番花では夏枝が100%であつた。

着花は、結果枝の先端から6節位までが多く、花は単性、又は2花3花の簇生で、1番花は全節に着花し、結果枝の中で最も多く、又2番花以降は1番花の50%程度の着花数であつた。

4. むすび

1) 以上の調査結果から最も望ましい多量の果実を得る。1番花は母枝の長さ7~8cm、平均7葉位の前年生春枝で、この先端から発生する8cm位の本年生春枝が結果枝で、この結果枝の全節に単生、又は2~3花の簇生で着花し、又母枝に腋生した花が、結果枝の20%位の着花があり、年間を通じて、着花数最も多かつた。

2) 2番花以降4番花は、1番花に比べて母枝、結果枝とも短く5cm位で、開花期の遅れるに従つて、母枝の種類は前年の春枝が減少し、夏枝がふえ、結果枝では本年春枝より夏枝の割合が多く、4番花は夏枝だけになり、花の状態は、1番花と同様な傾向であつたが、着花数は少く、着花している枝で1番花の50%位の着花であつた。

第2表 寧波金柑の結果母枝調査 (昭和35年度)

区 別	長さ (cm)			葉 数 (枚)			種 類 (%)		着 花 数														
	平均	最長	最短	平均	多	少	前年春枝	前年夏枝	1節	2節	3節	4節	5節	6節	7節	8節	9節	10節	11節	12節	13節	14節	
1 番 花	7.78	13.10	3.35	6.95	13	4	90	10	0	0.2	0.40	0.45	0.25	0.25	0.15	0.2	0.4	0.25	0	0.5	0.5	0.1	
2 番 花	5.05	10.70	0.75	4.90	9	2.5	70	30	0.15	0.1	0.20	0.4	0.2	0.15	0.5	0.5	0	1	1	0	0	0	
3 番 花	5.53	10.15	1.50	4.80	8	2	60	40	0.05	0.3	0.20	0.3	0.25	0.3	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0
4 番 花	4.78	12.65	0.75	4.25	9	2	50	50	0.05	0.05	0.20	0.25	0.15	0.1	0.15	0	0	0	0	0	0	0	0

(註) 着花数は各花別の全節数であらわした。

第3表 寧波金柑の結果枝調査 (昭和35年度)

区 別	結果枝の発生節位 (%)					長さ (cm)			種 類 (%)		着 花 数													
	1節	2節	3節	4節	5節	平均	最長	最短	本年春枝	本年夏枝	1節	2節	3節	4節	5節	6節	7節	8節	9節	10節	11節	12節	13節	14節
1 番 花	90	5	5			8.3	14.9	3.4	100		1.85	1.80	1.80	1.65	1.60	1.75	1.20	1.00	0.95	0.60	1.35	1.25	1.70	
2 番 花	65	20	15			4.44	9.35	1.0	40	60	1.20	0.90	1.05	0.85	0.75	0.55	0.40	0.45	0.75	0.70	0	0	0	0
3 番 花	75	15	5			5.45	11.3	1.85	20	80	0.85	0.85	0.85	0.90	0.85	0.40	0.40	0.15	0.20	0	0.25	0.25	0	0
4 番 花	65	15	10	5	5	5.39	9.15	1.7	100		0.80	0.90	0.30	1.20	0.80	0.90	0.50	0.25	0	0.50	1.00	0	0	0

(註) 着花数は各花別の全節数であらわした。